

このメルマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された新着情報や産業保健情報を配信します。

目 次

1. 産業保健セミナー（3月の予定）のご案内
2. 平成 22 年度の産業保健セミナー特集
 - （その 1） 22 年度産業保健セミナーの特徴
 - （その 2） 22 年度産業保健セミナーの年間計画
3. その他関係機関の動き

産業保健セミナー（3月の予定）のご案内

（1）栄養指導の実際

開催日時	3月8日（月）14：00～16：00
開催場所	太田市社会教育総合センター（太田市熊野町23-19）
講 師	野口泰子氏（社団法人日本栄養士会理事）
内 容	平成 20 年度から始まった特定保健指導は、生活習慣病の発症予防を目的に、本人の意欲を高め、行動変容への「支援」に重点を置くことが強調されている。一方、保健指導を進めていく中で、課題等も集約されつつあり、研修会の参加者と共にそれぞれの立場から検討していきます。

（2）衛生管理活動の活性化

開催日時	3月16日（火）14：00～16：00
開催場所	伊勢崎市文化会館（伊勢崎市昭和町3918）
講 師	都丸和憲氏（サンデン株式会社 安全衛生グループリーダー）
内 容	地区における代表的企業の安全衛生管理活動をご紹介いただき、安全衛生管理活動の活性化について考えます。

平成 22 年度産業保健セミナー特集（その 1 特徴）

平成 22 年度当センターで実施する産業保健セミナーの研修の特徴は次のとおりです。

- ① 産業医を対象とした研修を実施します（日医の単位を取得できる）
- ② 研修テーマを分かりやすく具体的にし、「シリーズ」の研修を設けました
- ③ 講師に新しい相談員や、新鮮な外部講師を迎えました
- ④ 「リクエスト制度」を設けました
- ⑤ 申し込みはいつでも受け付けることにしました

シリーズを設けた研修

1. メンタルヘルスについて

21年度の研修参加者アンケートで希望が一番多かったテーマであり、系統だった研修を計画しました。それぞれ独立していますので関心のある回だけ参加していただいても十分にご理解いただける内容です。

- 第1回 メンタルヘルス不全者の早期発見・早期介入（8月4日）
- 第2回 メンタルヘルス不全者の家族への対応（9月3日）
- 第3回 産業保健スタッフに生じる心理（10月5日）
- 第4回 メンタル不全者の休職と職場復帰（11月12日）
- 第5回 メンタルヘルスケア体制作りと連携（12月13日）

このシリーズ以外にも

現代型うつとその対応（5月12日）等があります。

2. カウンセリングについて

カウンセリングの基礎をシリーズとして取り上げました。

時には講師2人体制で、また実技を交えながらの研修です。関連した内容ですので、全回ご参加いただくことをお勧めしますが、興味のある回だけの参加でもご理解いただけます。

- 第1回 概論（4月27日）
- 第2回 かかわり技法（5月25日）
- 第3回 傾聴（6月22日）
- 第4回 傾聴理論（7月27日）
- 第5回 まとめ（8月24日）

シリーズ以外にカウンセリング関係の研修には次の研修を予定しています

- ・誤解を防ぎながら信頼関係を築く対話法（9月29日）
- ・パワーハラスメント（10月13日）
- ・人間関係スキルとしての聞く力伝える力（11月16日）
- ・やる気のスイッチを入れるには（12月7日）
- ・管理者のためのリスニングとコーチング（1月25日）

3. 衛生管理者の「一緒に考える」シリーズ

衛生管理者の体験をお聞きしながら、参加者も参加できる研修として企画しました。衛生管理者協議会の会長にも参加いただき、衛生管理者の本音も言える研修にしたいと思います。（身近な事例をお持ちいただければ参考になります。）

- 第1回 一緒に考える製造現場における衛生管理者の役割（7月29日）
- 第2回 一緒に考える衛生管理者の役割（9月9日）
- 第3回 一緒に考える衛生管理者の職務（11月30日）
- 第4回 一緒に考える衛生管理者の職場巡視（2月3日）

4. 労働衛生関係法令関係

法令・通達関係の研修を希望する方が多かったので3回計画しました。

- 第1回 最近の労働衛生関係法令の動向（7月13日）
- 第2回 最低限知っておきたい安全衛生関係法令 その1（10月28日）
- 第3回 最低限知っておきたい安全衛生関係法令 その2（12月15日）

5. リクエスト制度

日程や場所の関係で参加できなかった研修の中で、再度開催を希望する研修がありましたら、センターまでお知らせください。希望者が多い場合は、講師と調整し開催を検討します。

平成22年度産業保健セミナー特集（その2 年間計画）

<メルマガ読者の皆さんに早く研修計画をお知らせしたくて、1年分を掲載したため、大変な分量になってしまいました。ご覧になりたい部分だけご覧ください。>

1年間の研修日程は下記のとおりです。「産業医」「衛生管理者・労務管理担当者」「保健師・看護師」に分けてありますが、どの研修でもご参加いただけます。

<産業医対象の研修>

（D—1）産業医の職務（生涯・専門 2単位）

開催日時 4月15日（木）15：00～17：00
会場 前橋テルサ 第3研修室
講師 真下 延男 センター所長
内容 職場巡視、健康相談、健康づくり、衛生委員会への参画など産業医の職務は、多岐に渡っていますが、産業医としてのあり方や産業保健と地域保健の連携などについて説明します。

（D—2）労働衛生関係法規と関係通達の改正（生涯・更新 2単位）

開催日時 5月20日（木）15：00～17：00
会場 前橋テルサ 3研修室
講師 群馬労働局 労働衛生専門官
内容 最近の労働安全衛生関係法令の改正や新しい通達について分かりやすく説明します。

(D―3) 測定機器の取り扱いと職場の改善方法 (生涯・実地 2単位)

開催日時 6月17日(木) 15:00～17:00
会場 前橋テルサ 第3研修室
講師 大澤 武克 相談員(衛生工学担当)
内容 有害業務作業場所の管理には測定が不可欠です。精度を求めるよりは現状把握が第一! 完璧な対策なんてあり得ない。小額の投資で少しでも快適な職場になるようなアドバイス!!

(D―4) 産業医に役立つカウンセリング (生涯・専門 2単位)

開催日時 7月15日(木) 15:00～17:00
会場 前橋テルサ つつじ
講師 羽鳥 裕明 相談員(カウンセリング担当)
内容 近年、企業においてメンタルヘルス不調者が増加しており、その対応として産業医にもメンタルヘルスに対しての知識とスキルが求められるようになってきました。メンタルヘルス不調者とコミュニケーションをはかる上で必要となる基本的なカウンセリング技法を学ぶとともに、実際の現場で起こっている問題などについても事例を通して学んでいただける内容となっています。

(D―5) 現在検討中 (生涯・専門 2単位)

開催日時 8月19日(木) 15:00～17:00
会場 前橋テルサ つつじ
講師 田中 義 相談員(産業医学担当)
内容 現在調整中

(D―6) メンタルヘルス対策における産業医の役割 (生涯・専門 2単位)

開催日時 9月2日(木) 15:00～17:00
会場 前橋テルサ 第3研修室
講師 竹内 一夫 相談員(メンタルヘルス担当)
内容 メンタルヘルス対策における産業医のかかわり方のポイントについて、職場メンタルヘルス体制の構築方法・評価方法から、実際のケース対応の注意点にいたるまで、幅広く解説する。(基礎レベル)

(D―7) 職場巡視の実際とその活用 (生涯・実地 2単位)

開催日時 10月21日(木) 15:00～17:00
会場 富士重工業㈱
講師 倉富 雄四郎 氏(富士重工業㈱ 専属産業医)
内容 自動車生産ラインの巡視を通じて、労働衛生の3管理を確認し、作業場の安全衛生上の問題点解決に寄与しうる産業医職場巡視について考える。

(D—8) 職域における健康診断実施上の問題点と対策 (生涯・専門 2単位)

開催日時 11月18日(木) 15:00～17:00
会場 ぐんま男女共同参画センター 大研修室
講師 藤田 晴康 相談員(産業医学担当)
内容 事業所で定期的に行われる健診の実務をまとめ、見落としがちな点や問題点を挙げて工夫の余地を探る。健診項目の省略、受診を拒む労働者の扱い、再検のタイミングと費用、健診結果のまとめ方等を話題とする。

(D—9) 健康診断の事後措置 (生涯・専門 2単位)

開催日時 12月16日(木) 15:00～17:00
会場 前橋テルサ つつじ
講師 月岡 関夫 相談員(産業医学担当)
内容 事業所における健康診断の意義は時代と共に大きく変わってきている。以前は職業病、結核、高血圧などの早期発見が目的であったが、1987年「WHO」からの「作業関連疾患」の報告があり、また生活習慣病の増加も目立つようになったため、検査項目が大幅に増加した。更に近年労働形態の変化、高齢化、ライフスタイルの多様化などにより生活習慣病の予防にも重点がおかれるようになった。そのため検査値のみならず生活習慣、家族歴、病歴、性格など全人的把握が必要となっている。

(D—10) 保護具の管理実習 (生涯・実地 2単位)

開催日時 1月20日(木) 15:00～17:00
会場 前橋テルサ 第3研修室
講師 大澤 武克 相談員(衛生工学担当)
内容 マスクをしていれば安全だと思っていませんか? 溶接作業場で使用しているメガネは大丈夫ですか? 職場巡視の時に作業者に一寸アドバイスが出来ると「うるさいけど良い産業医」**

(D—11) 過労死等と労災保険について (生涯・更新 2単位)

開催日時 2月17日(木) 15:00～17:00
会場 前橋テルサ 第3研修室
講師 河上 真理子(センター副所長)
内容 脳・心臓疾患が発症した場合、この発症の有力な原因が過重な労働が原因であれば、労災補償の対象となります。脳・心臓疾患の労災認定基準と過重労働による健康防止対策をお話します。

(D—12) 労働衛生のリスクアセスメントについて (生涯・専門 2単位)

開催日時 3月17日(木) 15:00～17:00
会場 前橋テルサ 第3研修室
講師 柿沼 泰明 相談員(衛生工学担当)

内 容 一般にリスクアセスメントは安全対策のハード面を中心に行われているが、今回は健康障害防止のために化学物質のリスクアセスメント手法を解説し、事例を挙げて一緒に評価をします。また、ソフト面のリスクアセスメントについても、全員参加で考えてみようと思います。

＜衛生管理者・労務管理担当者対象の研修＞

(E－1) カウンセリングシリーズ編 (概論)

開催日時 4月27日(火) 14:00～16:00
会 場 県庁昭和庁舎 26会議室
講 師 沼澤 文子 相談員(カウンセリング担当)
内 容 「カウンセリングとは何か」ということを概観します。
・企業でのカウンセリングの必要性
・日常会話とカウンセリングの違いなどを解説します。

(E－2) 現代型うつとその対応

開催日時 5月12日(水) 14:00～16:00
会 場 太田社会教育センター 視聴覚室
講 師 嶋方 喜斌 氏(カウンセリングルーム「雨上がり」主宰)
内 容 何故「現代型うつ」が増えているのか。事例を解き明かしていくと、そこに時代的背景と現代人の特性、若者の仕事観や社会性の課題が見えてきます。新入社員の早期離職やコミュニケーションのあり方を織り交ぜながら、「現代型うつ」への対応を考えていきます。

(E－3) 職場の有害業務の拾い出しと安全衛生対策

開催日時 5月18日(火) 14:00～16:00
会 場 高崎市総合福祉センター 会議室4
講 師 大澤 武克 相談員(衛生工学担当)
内 容 有機溶剤や特化物の使用の危険性は十分承知だが、実際に作業現場を見ているだろうか？リスクアセスメントという概念を取り入れて職場の改善を行ってみよう。

(E－4) カウンセリングシリーズ編 (かかわり技法)

開催日時 5月25日(火) 14:00～16:00
会 場 県庁昭和庁舎 26会議室
講 師 羽鳥 裕明 相談員(カウンセリング担当)
内 容 座り方や相手との間合いの取り方、基本的応答技法、質問技法など講義のあとに、カウンセリングのデモンストレーションを見ながら各技法の確認を行います。その後、実際に自ら体験しながら基本的なかかわり方を身につけていきます。

(E-5) 新型インフルエンザ対策

開催日時 5月27日(木) 14:00~16:00
会場 ぐんま男女共同参画センター 大研修室
講師 藤田 晴康 相談員(産業医学担当)
内容 新型インフルエンザに対するこれまでの対策を振り返り、評価と反省を行いながら、今後の新たな波に備える工夫を考察する。(なお、流行の状況によっては内容が変わります。)

(E-6) 熱中症の予防

開催日時 6月2日(水) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 中村 保子 相談員(産業医学担当)
内容 本格的な夏が始まる前に、熱中症対策を確認しておきましょう。皆さんの職場で行っている対策や知恵についてもお聞かせください。

(E-7) 非正規労働者の健康管理

開催日時 6月8日(火) 14:00~16:00
会場 太田市社会教育センター 視聴覚室
講師 新井 政信 氏
内容 非正規労働者には、正規労働者と差別されているとの意識があり、一方正規労働者の一部には、無意識のうちに、差別的な言動が見られる。これが、セクハラやパワハラとなり非正規労働者の心の健康問題にいたるケースが見られる。又、これらが会社への不満となり、内部告発や事件に発展した事例もあり、企業経営上重要な課題となっている。

(E-8) もう1度見なおしてみませんか?労働衛生

開催日時 6月10日(木) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 柿沼 泰明 相談員(衛生工学担当)
内容 労働衛生三管理のうち、「作業環境管理」と「作業管理」については、事例を中心に関連した問題点を、また、「健康管理」については、健康診断の事後措置と過重労働対策について、質疑応答など全員参加で対策を考えてみたいと思います。出来るだけ質問を持参して参加してください。

(E-9) カウンセリングシリーズ編・傾聴

開催日時 6月22日(火) 13:30~16:30 *時間注意
会場 県庁昭和庁舎 26会議室
講師 沼澤 文子 相談員・羽鳥 裕明 相談員(カウンセリング担当)
内容 カウンセリングは理論を学んだだけでは身につかないものです。繰り返しのトレーニングを身につけていくことが必要です。傾聴を理

解し、基本的なかかわり法を身につけていただくため、傾聴トレーニング、代表者形式、3人形式などを取り入れてスキルアップを図ります。

(E-10) 実地研修

開催日時 6月中
会場 西毛地区で調整中

(E-11) 最近の労働衛生関係法令の動向

開催日時 7月13日(火) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 群馬労働局 労働衛生専門官
内容 最近の関係法令の改正や新しい通達等について分かりやすく説明します。

(E-12) 保護具の最前線

開催日時 7月21日(水) 14:00~16:00
会場 太田市社会教育センター 視聴覚室
講師 大澤 武克 相談員(衛生工学担当)
内容 保護具は着用しているだけでは安全・衛生の確保は難しい?!ちゃんとした装着で無いとこえって危険!!最新情報も入手できるかも?

(E-13) カウンセリングシリーズ編・傾聴理論

開催日時 7月27日(火) 14:00~16:00
会場 県庁昭和庁舎 26会議室
講師 羽鳥 裕明 相談員(カウンセリング担当)
内容 傾聴トレーニングはただ単にやっただけで終わらせてしまうのではなく、トレーニングを振り返り、一つ一つを確認していくことでスキルアップが図れます。相手が話した事柄だけでなく、それにどのような意味があったのかを考えるステップはカウンセリング技術向上になくってはならないものです。逐語検討などを通して結果を振り返ると共に「自分だったらどうするか」を考えることでスキルアップを図ります。

(E-14) 一緒に考える製造現場における衛生管理者の役割

開催日時 7月29日(木) 14:00~16:00
会場 高崎市総合福祉センター 会議室2
講師 長井 和俊 氏(信越化学工業㈱ 衛生管理者)
内容 製造現場は種々の物質を取り扱っております。作業環境測定や特殊健康診断を行うものの、一番大事なのは衛生管理者の活動です。衛生管理者とは現場を巡視し、現場の改善を説得して回るといふハー

ドな業務であり、その一端をご紹介しながら一緒に考えます。

(E-15) メンタルヘルス不全者の早期発見・早期介入

開催日時 8月4日(水) 14:00～16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 竹内 一夫 相談員(メンタルヘルス担当)
内容 メンタルヘルス不調者の早期発見・早期介入のための基礎的知識のレビューを行う。仕事ストレスからメンタルヘルス不調に至るメカニズムとその評価方法、統計データの紹介、及び現場におけるうつ状態の見分け方などを中心にアウトラインを解説。(基礎レベル)

(E-16) カウンセリングシリーズ編・まとめ

開催日時 8月24日(火) 14:00～16:00
会場 県庁昭和庁舎 26会議室
講師 沼澤 文子 相談員・羽鳥 裕明 相談員(カウンセリング担当)
内容 シリーズのまとめとして、傾聴トレーニングを重ねると「こういうケースは実際にはどのように対応していくのが良いのだろうか?」という疑問が出てきます。このような疑問をどのように職場内に展開していけば良いのかを、長年実際の現場で対応してきた臨床心理士や産業カウンセラーが「事例」を交えながらお答えし、一緒に考えていきます。

(E-17) 歯科保健から考える生活習慣病

開催日時 8月26日(木) 14:00～16:00
会場 高崎市総合福祉センター 会議室2
講師 山口 達雄 氏(山口労働衛生コンサルタント事務所)
内容 事業場での歯科健診は、重要です。
「成人歯科健診」と「産業歯科健診」の違いと、産業歯科医による歯科検診を行わなければならない職場を職業性口腔疾患と共に説明します。また、歯周病が全身に与える影響を解説します。

(E-18) メンタル不全者の家族への対応

開催日時 9月3日(金) 14:00～16:00
会場 太田市社会教育センター 視聴覚室
講師 渡辺 俊之 相談員(メンタルヘルス担当)
内容 うつ病、不安障害、認知症などメンタルに問題のある抱えた家族は、さまざまな否定的感情(不安、落胆、怒り、悲しみなど)を持つ。しかし、家族はメンタルヘルス不全者をケアするため、そうした感情を抑えて「対応」していかなければならない。援助者は家族のケア能力を高めるために、家族の苦悩に耳を傾け、家族に病気やケアの情報を提供する必要がある。

(E-19) 一緒に考える衛生管理者の役割

開催日時 9月9日(木) 14:00~16:00
会場 渋川市中央公民館
講師 茂木 昭夫 氏(衛生管理者)
内容 衛生管理者の役割と職務について再確認する。その後日頃の労働衛生管理を行っていて感じている問題点について持ち寄って問題を共有し、話し合い、考え合って問題を解決していきたい。

(E-20) 事業者が取るべき新型インフルエンザ対策

開催日時 9月30日(木) 14:00~16:00
会場 ぐんま男女共同参画センター 大研修室
講師 倉富 雄四郎 氏(富士重工業株式会社 専属産業医)
内容 新型インフルエンザとして登場した2009A/H1N1が従来のA型ソ連型に代わって、季節性インフルエンザの位置を占めると予想されている。昨年の経過を振り返り、適切な感染対策について考える。

(E-21) 産業保健スタッフに生じる心理

開催日時 10月5日(火) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 松岡 治子 相談員(メンタルヘルス担当)
内容 メンタルヘルスを支援する中では、支援するスタッフ自身にも様々な感情や認知が生じる。他者を支援する支援者自身に生じる心理について解説し、研修参加者の体験した事例を挙げて頂きながら検討したい。

(E-22) 衛生管理者が行う職場の健康づくり

開催日時 10月19日(火) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 佐藤 由美 相談員(保健指導担当)
内容 特定健診が導入され、メタボリックシンドローム予備軍の減少に取り組むことになりましたが、生活習慣改善は個人の努力だけでは難しく職場ぐるみの取り組みが重要です。そこで、職場で行う健康づくりについて実践例を紹介します。

(E-23) 最低限知っておきたい安全衛生関係法令 その1

開催日時 10月28日(木) 14:00~16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 関口 光男 相談員(労働衛生関係法令担当)
内容 職場で働く人たちの安全と健康の確保が労働安全衛生法の目的です。社会の中にも危険が存在します。法令で危険性・有害性が特定されているものとそうでないものが存在します。法令で特定されて

いるものは最小限です。「危険性・有害性」を見つけ出し退治しましょう。

(E-24) 測定機器の取り扱いと職場の改善方法

開催日時 11月9日(火) 14:00～16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 大澤 武克 相談員(衛生工学担当)
内容 安全衛生の責任ある管理者は職場の環境を把握していますか? ガス、粉じん、照度等の測定方法を習得して、測定結果を活用し環境改善・快適職場の形成に貢献しましょう。

(E-25) メンタルヘルス不全者の休職と職場復帰

開催日時 11月12日(金) 14:00～16:00
会場 高崎市総合福祉センター 会議室2
講師 椎原 康史 相談員(メンタルヘルス担当)
内容 職場のメンタルヘルスケアのうち、上司として部下のメンタルヘルス不全事例への対応について、診断書が提出され、病気休暇・休職に入った時点から復職支援、復職後のアフターケアに至るまでを、具体的に解説する。

(E-26) 実地研修

開催日時 11月25日(木)
会場 富士重工業(株)宇都宮工場
講師 富士重工業(株)スタッフ
内容 ヘリコプター等を製造している富士重工業宇都宮工場へ出かけ、厳しい労働衛生管理や現場の状況を研修します。研修場所が遠方のため、バスを利用し前橋から太田を回って宇都宮まで出かけますので出発地によっては1日がかりの研修になります。通常は工場内へ入ること自体厳しい制限がありますので、この機会に是非ご参加ください。詳細は10月頃にお知らせします。

(E-27) 一緒に考える衛生管理者の職務

開催日時 11月30日(火) 14:00～16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 荻原 勉 氏(株ミツバ 衛生管理者)
内容 衛生管理者として、会社及び職場において実施すべき項目の整理・職務の遂行に対する課題の検討から、的確な実効性を導くため、参加者の方々と方策を検討してみたい。

(E-28) 労働衛生のリスクアセスメント

開催日時 12月8日(水) 14:00～16:00
会場 渋川市中央公民館

講 師 柿沼 泰明 相談員（衛生工学担当）
内 容 健康障害防止のため化学物質のリスクアセスメント手法を解説し、事例を挙げて一緒に評価します。また、ソフト面のリスクアセスメントについても、参加者全員で考えてみようと思います。

（E－29）メンタルヘルスケア体制作りと連携

開催日時 12月13日（月）14：00～16：00
会 場 太田市社会教育センター 視聴覚教室
講 師 竹内 一夫 相談員（メンタルヘルス担当）
内 容 職場におけるメンタルヘルスケアの体制作りや、実際のケース対応をめぐる関係機関の連携のポイントについて、講義形式と演習形式（討論）を組み合わせて進めて行きたい。（応用レベル）

（E－30）最低限知っておきたい安全衛生関係法令 その2

開催日時 12月15日（水）14：00～16：00
会 場 群馬産業保健推進センター 研修室
講 師 関口 光男 相談員（労働衛生関係法令担当）
内 容 職場巡視は衛生管理者の職務の一つです。巡視は危険場所や有害な作業のやり方発見のチャンスです。作業者の顔色を見て元気なことを確認し、有害物の取り扱い作業で暴露が最小限となるような手順でやっているか、周囲に漏れていないか、保護具、局排装置は良いかなどを見て回ります。トイレ、休憩所、喫煙場所も含まれます。

（E－31）歯科保健から考える生活習慣病

開催日時 1月13日（木）14：00～16：00
会 場 太田市社会教育センター 視聴覚室
講 師 山口 達雄 氏（山口労働衛生コンサルタント事務所）
内 容 事業場での歯科健診は、重要です。
「成人歯科健診」と「産業歯科健診」の違いと、産業歯科医による歯科検診を行わなければならない職場を職業性口腔疾患と共に説明します。また、歯周病が全身に与える影響を解説します。

（E－32）管理者のためのリスニングとコーチング

開催日時 1月25日（火）14：00～16：00
会 場 高崎市総合福祉センター 会議室2
講 師 鈴木 浄美 相談員（カウンセリング担当）
内 容 現在検討中

（E－33）一緒に考える衛生管理者の職場巡視

開催日時 2月3日（木）14：00～16：00
会 場 太田市社会教育センター 視聴覚室
講 師 柿沼 泰明 相談員（衛生工学担当）

内 容 健康状態の把握と健康障害防止の観点から、問題点を作業現場から教えてもらうためにどうしたらよいか？チェックポイントと事後措置の実施等について一緒に考えてみようと思います。出来るだけ問題点を持参して参加してください。

(E-34) 現在検討中

開催日時 2月24日(木) 14:00~16:00
会 場 群馬産業保健推進センター
講 師 小野 善平 相談員(産業医学担当)
内 容 現在検討中

<保健師・看護師対象の研修>

(N-1) 知っておきたい糖尿病の最新知識

開催日時 4月21日(水) 14:00~16:00
会 場 群馬産業保健推進センター 研修室
講 師 中村 保子 相談員(産業医学担当)
内 容 糖尿病の診断も、治療目標も、治療法も少しずつ変化しています。知識をリニューアルしませんか？それに合わせて、保健指導も少しずつ変えていく必要があります。

(N-2) 特定保健指導の評価

開催日時 5月19日(水) 14:00~16:00
会 場 群馬産業保健推進センター 研修室
講 師 佐藤 由美 相談員(保健指導担当)
内 容 特定保健指導における「評価」を概観し、特に個人レベルの評価の考え方と方法、集団・事業レベルの評価への活用について解説します。実施している評価方法をふりかえり、保健指導の改善につながる方法を考える機会にしてください。

(N-3) 健診データのまとめかたと活用(その3)

開催日時 8月31日(火) 14:00~16:00
会 場 群馬産業保健推進センター 研修室
講 師 藤田 晴康 相談員(産業医学担当)
内 容 一般的な表計算ソフトを用いて健診データを効率的にまとめるコツを解説する。初心者のために全2回の復習を行いながら、今回はやや上級の手法(マクロ)にも挑戦する。

(N-4) 誤解を防ぎながら信頼関係を築く対話法

開催日時 9月29日(水) 14:00~16:00
会 場 太田市社会教育センター 視聴覚室
講 師 浅野 良雄 相談員(カウンセリング担当)

内 容 相談では共感と傾聴が基本ですが、質問や情報提供も欠かせません。そこで重要なのは、状況に応じてこれらを切り替えるスキルです。研修ではこれらを実践するために考案された、確認型応答を中心とする技法の解説と実習を行います。

(N－5) パワーハラスメント

開催日時 10月13日(水) 14:00～16:00
会 場 群馬産業保健推進センター 研修室
講 師 嶋方 喜斌 氏(カウンセリングルーム「雨上がり」主宰)
内 容 パワハラ訴訟には至らなくても、その手前の対象事例となるハラスメント行為が日常的に多く見受けられます。相手の心を傷つけ、意欲をなくさせ、仕事の能率を低下させ、こころの病へ追い込む、あるいは退職に追い込むような事例が後を絶ちません。その背景と対策を考えます。

(N－6) 看護職自身のメンタルヘルス支援

開催日時 10月26日(火) 14:00～16:00
会 場 群馬産業保健推進センター 研修室
講 師 松岡 治子 相談員(メンタルヘルス担当)
内 容 メンタルヘルスを支援する中では、看護職自身にも様々な感情や認知が生じる。他者を支援する看護職自身に生じる心理について解説し、研修参加者の体験した事例を挙げて頂き、特に産業看護職の感情や認知に焦点を当てて検討したい。

(N－7) 産業医と保健師・看護師の連携の進め方

開催日時 11月4日(木) 14:00～16:00
会 場 群馬産業保健推進センター 研修室
講 師 中村 保子 相談員(産業医学担当)
内 容 多数の職員の健康管理を少ない人数で行うためには、チームプレイが必要です。それぞれがそれぞれに悩んでいませんか? 効率的な連携をすすめるには何が必要なのでしょう。答えがあるわけではありません。一緒に考えてみませんか?

(N－8) 人間関係スキルとして聞く力伝える力

開催日時 11月16日(火) 14:00～16:00
会 場 渋川市中央公民館
講 師 鈴木 浄美 相談員(カウンセリング担当)
内 容 現在検討中

(N－9) やる気のスイッチを入れるには

開催日時 12月7日(火) 14:00～16:00
会 場 高崎市総合福祉センター 会議室2

講 師 大小原 利信 氏（ラポール企画 代表）
内 容 ストレス社会の中で、思っていることややりたいことを出来ずに留まっている方が多いのではないのでしょうか？一人ひとりが伸びのびと、元気に自立的に行動して自己実現に向かっていけるようなヒントを学びます。

（N－１０）栄養指導

開催日時 ２月９日（水）１４：００～１６：００
会 場 高崎市総合福祉センター 会議室２
講 師 野口 泰子 氏（社団法人日本栄養協会理事）
内 容 長年の積み重ねで作られた「生活習慣病」の改善は容易ではないが、「健康寿命を延ばし、ＱＯＬの高いイキイキとした生活を送りたい」ことは誰もが願うことである。今回の制度の主眼はまさに「ここ」であり、本講座では行動変容を促し、保健指導効果を上げる方法を、参加者とともに確認していきたい。

（N－１１）運動指導

開催日時 ２月１６日（水）１４：００～１６：００
会 場 東日本労働衛生センター
講 師 東日本労働衛生センタースタッフ
内 容 現在検討中

（N－１２）職場における救急体制（ＡＥＤの使い方等）

開催日時 ３月８日（火）１４：００～１６：００
会 場 太田市社会教育センター
講 師 消防署の方
内 容 いつ、どこで、誰が、突然の怪我や病気に襲われるか予測が付きません。職場も例外ではありません。救急車が来るまでの間に適切な応急措置ができるかどうかで生死を分けることがあります。緊急事態に備えて、心配蘇生法、ＡＥＤの使用方法等の実習を行います。

その他関係機関の動き

＊ 労働者死傷病報告書の様式が平成 22 年 4 月 1 日から変わります。

派遣労働者が、労働災害等により死亡又は休業した時には、派遣元・派遣先双方の事業者がそれぞれ所管の労働基準監督署に「労働者死傷病報告書」を提出する必要がありますが、4 月 1 日からこの報告書の様式が改正され、「派遣元の事業者は、派遣先の事業場の郵便番号」を記入することになりました。

詳細は下記のホームページでご覧いただけます。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/1002-1.html>

- * 定期健康診断における胸部エックス線等に関する規定が改正され、平成 22 年 4 月 1 日から施行されます。

胸部エックス線検査の対象者が見直され、次のようになります。

①40 歳以上の方・・・全員実施

②40 歳未満の方・・・以下の方以外で、医師が必要ないと認めるときは省略可

・20 歳・25 歳・30 歳及び 35 歳の方

・感染症法で結核に係る定期の健康診断の対象とされている施設等で働いている方

・じん肺法で 3 年に 1 回のじん肺健康診断の対象とされている方

詳細は下記のホームページでご覧になれます。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/1001-1a.pdf>

- * 産業保健関係者に対する感染症対策に関する研修のご案内（再掲）

主 催 財団法人産業医学振興財団

対 象 産業医・衛生管理者・保健師等産業保健関係者
及び人事労務担当者

開催日・会場

東京会場 平成 22 年 3 月 4 日（木） 芝パークホテル

名古屋会場 平成 22 年 2 月 18 日（木） KKR ホテル名古屋

大阪会場 平成 22 年 2 月 4 日（木） ホテルコムズ大阪

福岡会場 平成 22 年 2 月 25 日（木） 博多エクセルホテル東急

定 員 各会場 75 名程度

参 加 費 無料（日本医師会認定産業医制度指定研修として申請中）

講習時間・内容

13:30～13:40 開講挨拶（開催地の都道府県労働局）

13:40～15:10 職場におけるウイルス肝炎対策

15:20～16:50 職場におけるエイズ・ノロウイルス・結核対策

申込方法 インターネット又はファックス（先着順に受け付けます）

問合せ先 財団法人 産業医学振興財団 企画課

東京都港区赤坂 2-5-1 東邦ビル 3 階

電話 03-3584-5429 fax 03-3584-5426

ホームページ <http://www.zsisz.or.jp/>

- * 平成 22 年度 産業保健実践講習会開催のご案内（再掲）

対 象 者 医師、保健師、看護師、衛生管理者、衛生推進者等

単位取得 日本医師会認定産業医制度医学研修の単位（基礎又は生涯）

研修科目 過重労働対策の進め方

新型インフルエンザ対策の構築の実際

健康診断の事後措置

メンタルヘルス事例研究

開催日程 平成 22 年 5 月 23 日（日）9：00～16：30
神奈川県総合医療会館（横浜市中区富士見町 3－1）
定 員 200 名
受講料 10,000 円
申込期間 平成 21 年 2 月 1 日から 4 月 23 日
（他に大阪会場、名古屋会場、福岡会場、岡山会場でも開催されます）
申し込み・問合せ先
財団法人 産業医学振興財団 企画課
東京都港区赤坂 2－5－1 東邦ビル 3 階
電話 03-3584-5429 fax 03-3584-5426
ホームページ <http://www.zsisz.or.jp/>

＊ 平成 21 年度アスベスト対策研究会開催のお知らせ

開催日時 平成 22 年 3 月 19 日（金）午後 7 時～午後 9 時
場 所 群馬県健康づくり財団 6 階大会議室
前橋市堀之下町 1 6－1
主 催 群馬県・群馬県医師会・群馬産業保健推進センター
講 師 独立行政法人労働者健康福祉機構 富山労災病院
勤労者呼吸器病センター長 武内浩一郎
演 題 「石綿の健康障害と演習」
職歴の取り方、居住歴の取り方、画像読影、健康管理手帳申請、
労災申請、石綿救済新法申請のポイント
対 象 者 群馬県医師会会員医師・医療関係従事者等
問合せ先 群馬県健康福祉部保健予防課
電話 027-226-2607 fax 027-223-7950

平成 22 年度 1 年分の研修予定を掲載しました。（研修の内容については、一部未定の部分もありますが、日程はこれで確定です。）

今回この年間の計画を立てるに当たり、相談員さんをはじめ講師の先生にはご無理をお願いし、研修最優先で日程を空けていただきました。講師の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

半年、1 年先の予定は、まだまだ決まっていないと思いますが、受講したい研修がありましたら、早めに申し込みをし、手帳に記録しておいてください。

たくさんの方の申し込みをお待ちしています。

=====
<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

sanpo10@gummasanpo.jp

=====

《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966